

PCT

REC'D 20 JAN 2005

WIPO

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)  
(PCT36条及びPCT規則70)

出願人又は代理人 の書類記号 1024	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP02/11025	国際出願日 (日.月.年) 24.10.2002	優先日 (日.月.年)
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 B62D25/12		
出願人 (氏名又は名称) 大橋鉄工株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。  
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。
- a ☒ 附属書類は全部で 2 ページである。
- ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
- ☐ 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
- b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。  
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 24.05.2004	国際予備審査報告を作成した日 04.01.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 山内 康明 電話番号 03-3581-1101 内線 3341	3D 9255

## 第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、\_\_\_\_\_ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査  
☐ PCT規則12.4にいう国際公開  
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-6, 8 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 7 \_\_\_\_\_ ページ\*、15.11.2004 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 2, 4, 5 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1, 3 \_\_\_\_\_ 項\*、15.11.2004 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-4 \_\_\_\_\_ ~~ページ~~図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、\_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図  
☐ 配列表(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_  
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-5	有 無
	請求の範囲		
進歩性 (IS)	請求の範囲	1-5	有 無
	請求の範囲		
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-5	有 無
	請求の範囲		

## 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲1-5に係る発明は、国際調査報告及び見解書に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものではない。

## 産業上の利用可能性

要するに本発明は、合成樹脂部品 3 におけるロッド 2 の挿入部 6 の奥側を広くし、該挿入部 6 の奥側内に、挿入部 6 の奥側の内面より奥側へ斜めに突出する係止片 7 を設け、他方、ロッド 2 の先端側面に係止片 7 の先端の係止凹部 8 を形成したので、係止片 7 の先端及び係止凹部 8 の係合構造によりロッド 2 に対する合成樹脂部品 3 の抜脱を防止することが出来る。

又、挿入部 6 の奥部に、ロッド 2 の差込時に該ロッド 2 の先端が当接する、ロッド 2 の先端の位置規制部 10 を設けたので、位置規制部 10 によりロッド 2 の先端を位置決めしているため、装着状態における合成樹脂部品 3 の上下微動を防止又は極めて微量に抑止出来る。

而も、押圧部材 10a がロッド 2 の先端面に、係止片 7 の先端が係止凹部 8 の上部に夫々当接状態となるため、ロッド 2 に対する合成樹脂部品 3 の組付け向きを維持することが出来る。

よって、ロッド 2 及び合成樹脂部品 3 の一体性に優れた製品にすることが出来る。

位置規制部 10 を、合成樹脂部品 3 に一体形成する、圧縮弾性体である押圧部材 10a としたので、かかる押圧部材 10a は弾性変形可能であり、ロッド 2 の先端を押圧部材 10a との当接位置より更に奥に差し込むことが出来るため、合成樹脂部品 3 を大きく変形させずに係止片 7 の先端及び係止凹部 8 を係合させることが出来、而も押圧部材 10a とロッド 2 の先端面及び係止片 7 と係止凹部 8 の当接部位の密着度が押圧部材 10a の弾性復元力により大きくなるため、ロッド 2 に対する合成樹脂部品 3 の一体性を更に向上させることが出来る。

合成樹脂部品 3 の上方部位を、挿入部 6 の奥側を合成樹脂部品 3 の上方部位の両側方で開放することで棒状に形成したので、上記上方部位を変形容易に成形することが出来るため、ロッド 2 への合成樹脂部品 3 の装着作業の容易化を図ることが出来る。

## 請求の範囲

1. (補正後) ロッドの先端部に合成樹脂部品を、該合成樹脂部品の挿入部にロッドの先端部を差し込んで装着する取付構造であつて、  
5  
  - 上記挿入部の奥側を広くし、該挿入部の奥側内に、挿入部の奥側の内面より奥側へ斜めに突出する係止片を設け、他方、ロッドの先端側面に上記係止片の先端の係止凹部を形成し、挿入部の奥部に、ロッドの差込時に該ロッドの先端が当接する、ロッド先端  
10  
 の位置規制部を設けたことを特徴とするロッド及び合成樹脂部品の取付構造。
  2. 位置規制部を、合成樹脂部品に一体形成する、圧縮弾性体である押圧部材としたことを特徴とする請求項 1 記載のロッド及び合成樹脂部品の取付構造。
  - 15  
 3. (補正後) 合成樹脂部品の上方部位を、挿入部の奥側を合成樹脂部品の上方部位の両側方で開放することで枠状に形成したことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のロッド及び合成樹脂部品の取付構造。
  4. ロッドの先端側面に突部を設けると共に、合成樹脂部品における挿入部の入口側部位の内側面に突部の嵌合溝を刻設したことを  
20  
 特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載のロッド及び合成樹脂部品の取付構造。
  5. ロッドの先端側面における係止凹部とは反対側に平坦面を形成すると共に、合成樹脂部品における挿入部に、上記平坦面に密接  
25  
 する平坦面を形成したことを特徴とする請求項 1、2、3 又は 4 記載のロッド及び合成樹脂部品の取付構造。